受け継がれる伝統と誇り

鹿島神社例大祭



国見町の秋を代表する伝統行事「鹿島神社例大祭」が10月22日から24日までの3日間、藤田商店街を中心に開催されました。

町指定無形民俗文化財である例大祭では、軽快なお囃子の音色とともに、神輿や色鮮やかな山車が町内を練り歩きました。沿道には多くの見物客が集まり、若連衆の威勢のよい掛け声が響くなど、藤田の街並みは祭りの熱気に包まれました。



山車を引く子どもたち



神職による剣の舞



笛の音色で祭りを彩る



山車を引き、町内を練り歩く若連衆



稚児舞を披露する子どもたち



祭り最大の見どころは、最終日の夜に繰り広げられる「もみ合い」です。

若連衆の威勢のよい掛け声が飛び交う中、神輿を挟んで山車が激しくぶつかり合うと、辺りには衝突の轟音が響きました。力を合わせて山車を押す若連衆の勇壮な姿に、沿道の見物客からは大きな歓声が上がり、祭りの熱気は最高潮に達しました。

提灯の明かりに照らされた山車が夜の街並みに浮かび上がり、藤田の秋を熱く彩りました。



ぶつかり合う山車　最高潮の熱気









